

▼最優秀賞受賞作品（俳句）

無花果 いちじく

松本時代

夏座敷鈴鹿の墨と奈良の墨

幼な児の寢息で動く夏ぶとん

古団扇父の手あかの染み込みて

数独の行詰まりたる残暑かな

無花果や下に昭和の井戸ポンプ

秋麗や古書売り古書を買ふて出づ

半切の白に墨置く夜長月

縄とびの縄に区切られ秋の空

秋灯や取り寄せ本に蔵書印

シーソーの片方は地に秋深し

▼最優秀賞受賞作品（川柳）

時には主婦のように

樋口りゑ

晴れた日は専業主婦をしたくなる

詰めている弁当見られてはならぬ

近すぎず遠すぎず良いゴミ置き場

関節の限度に挑む拭き掃除

掃除中だけはかきずかれる便器

百均になれば余所で買う雑貨

空っぽの郵便受けに笑われる

丈夫だと教えてくれる期限切れ

蓮根が息絶えていた冷蔵庫

今日もまたもやし明日もまたもやし